

事業所名

ラポール発達教室Advance【児童発達支援】

支援プログラム（参考様式）

作成日

2024年

1月

15日

法人（事業所）理念		あなたに会いたい。あなたを知りたい。あなたと一緒に笑いたい。						
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> 子ども一人ひとりに合わせた支援プランを立て、子どもの可能性を伸ばし、就学に向けて支援を行っていく。 「大好き」な遊びを通して「わかる!」「できる!」「もっとやりたい!」という気持ちを育て、子どもの発達と成長を促していく。 一つ一つの事柄について、本人の発達段階や特性に合わせた療育を行い「概念」を作っていく。 						
営業時間		10時	00分	17時	30分	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<p>安定して楽しく通うことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 始めと終わりを決める。療育の枠組みを一定にして、慣れていけるようにする。 楽しい遊びを通して療育者との信頼関係を作る。 						
	運動・感覚	<p>様々な動きや遊具、道具を使う遊びを通して自分の身体の使い方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 必要な感覚を満たす。 粗大運動遊びを通して、自分のボディイメージを育てる。 ふれあい遊び、手あそび、踊り、リトミック、サーキット遊びなど身体を動かす遊びを行う。 生活に必要な動作を学ぶ。 						
	認知・行動	<p>本人の世界を広げて、行動範囲を広げ、分かることや行動できることを増やす。</p> <ul style="list-style-type: none"> 物を使った感覚遊びを十分に満たす。 物を通して人とかかわる。身の回りの物を知り、いろいろな物に触れながら知っていく。 物の用途を知る。物の使い方を知る。物を介した遊び方を広げる。物を合わせたり構成したりして遊ぶ。物を組み合わせて遊ぶ経験を積む。 数や形など身近な事柄についての概念を育てる。 描くことの楽しさを味わう。本人に合わせた筆記用具を使いながら、いろいろな線を描くことを楽しむ。 						
	言語コミュニケーション	<p>本人が伝えやすい方法で、相手に伝わる適切なコミュニケーションが取れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ジェスチャー、指差し等での人に対する要求方法を育てる。 語彙を増やし、やりとりの言葉を育てる。話すことを楽しむ。相手の質問に答える。 形容詞、動詞、助詞を学ぶ。簡単な文型に沿って文で話すことを学ぶ。一つのテーマに沿って話を続ける。 <p>相手の言う事を理解して行動する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 視覚的に分かりやすい方法を用いて、理解して行動できることを増やす。 本人のエピソードに合わせて物語を作り、視覚的に本人が分かるようにする。 ロールプレイやゲームを通して、実際に体験していくことを重視する。 						
	人間関係社会性	<p>集団生活、社会生活に必要な人間関係の基礎や社会性を学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 人とかかわることの楽しさを知る。 信頼関係を通して、模倣を育てる。 待つ、順番に行う、一定のリズムのある課題に取り組む等の経験を通して、相手のペースに合わせることを学ぶ。 挨拶、お礼、人と遊ぶ時等のやりとりの言葉を学ぶ。 小グループでお友達と一緒に遊ぶ楽しさを知り、協力したり、簡単なルールのある遊びに取り組む。 集団の中で、自分の意見を伝える経験を持ったり、相手に譲ったり、相手の意見を聞いたりする経験をする。 気持ちの言葉を知り、ラベリングを行い、自分の気持ちを整理して伝えたり、負けたりうまくいかない時の気持ちの切りかえ方を学ぶ。 様々なパターンを覚え、自分で考えて行動していく基礎を作る。 						
家族支援		保護者の相談に乗ったり、子育てサポート等を通して療育の様子を見ていただき話をしたりしながら、子どもの特性やかかわり方について家族と一緒に考える。			移行支援		就園や就学に向けて、必要なことを療育の内容に取り入れて、スムーズな移行を目指す。	
地域支援・地域連携		必要に応じて、相談機関や通所先などと連携していく。保育所等訪問支援などの活用も提案する。			職員の質の向上		月1回程度：事業所内研修や、その他必要な研修（随時）を行っている。資格支援制度があり、職員の資格取得を補助している。	
主な行事等		季節のイベント等は特に行っていないが、活動に季節感を感じられるような内容を取り入れている。						

事業所名

ラポール発達教室Advance【放課後等デイサービス】

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

1 月

15 日

法人（事業所）理念		あなたに会いたい。あなたを知りたい。あなたと一緒に笑いたい。					
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・保有する感覚について把握し、安心、安全な環境で過ごせるようにする。 ・得意なことや配慮すべき点を行動観察や検査を通して理解し、お子様に適した支援を行う。 ・活動の中でその子に合った気持ちの抑制方法をスモールステップで育む。 ・基本的言語コミュニケーションに必要なことが学べるようにする。 ・人との関りを通して、社会のマナーやルールを学び適応行動を増やす。 					
営業時間		9 時	0 分	18 時	0 分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人 支 援	健康・生活	<p>健康で安定した通所ができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康状態の把握。 ・児に適した温度や明るさ、場所などに配慮して過ごしやすい環境を設ける。 ・場所の明確化を行い、集中して取り組める環境を作る。 ・見通しを持ち、安心して活動できるようにする。 ・基本的な生活スキル（身だしなみ、トイレ、準備や片付けなど）を活動を通して学ぶ。 					
	運動・感覚	<p>身体の成長にあった支援を行い感覚の平衡化を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体の発達段階に合わせ、集中して取り組めるよう物理的環境を整える。 ・リズムに合わせたり模倣をしたりするような遊びを通して身体の使い方を知っていく。 ・感覚過敏に対して配慮する。（光、音、動作、感触等） ・着脱や排泄、整理整頓など生活において必要な動作を培う。（特別支援学校・学級コース） 					
	認知・行動	<p>一人一人の特性を検査や行動観察を通して把握し、本人が理解しやすい方法で支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・得意なことや配慮すべき点を行動観察や検査を通して知り、本人の特性にあった支援を行う。 ・活動の中でその子に合った気持ちの抑制方法をスモールステップで学ぶ。 ・学習の取りこぼしが無いように定期的に検査を行い、振り返り学習も取り入れながら確実な定着を目指す。 ・その子なりの目標を大切に、やり遂げる経験を多くしていく。 ・生活に必要な作業課題（マッチング、文字、書字、動作模倣、分類、数など）を療育者と一緒にしながら取得できるように支援していく。（特別支援学校・学級コース） 					
	言語 コミュニケーション	<p>言語の受信と発信を促し、本人の特性に応じた言語コミュニケーション力を育む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語彙（名詞、形容詞、動詞、助詞、上位概念など）を増やし、理解できる語彙を増やす。 ・基本的言語コミュニケーションの概念やルールを学ぶ。 ・自分の要求を相手に伝えるためのコミュニケーションツール（指差しやジェスチャー、言葉、文字、タブレットの活用など）を増やしていく。（特別支援学校・学級コース） ・言語未発達段階の児童においては出せる音を大切に増やしていく。（特別支援学校・学級コース） 					
	人間関係 社会性	<p>多様な体験を通して、他者との関わり方や社会のマナー、ルールを学び適応行動を増やす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・療育者との信頼関係を基盤として安心して活動に参加できるようにする。 ・お友だちと意見交換をしたり協力したりするなどの活動を通して、人と関わることの楽しさを知る。 ・今後、社会生活で必要になる報告、連絡、相談等を学び、円滑な人間関係が構築できるよう支援する。 ・外的動機づけを上手く活用しながら内的動機（やってみたい、やりたいと思える気持ち）の発生へとつなげていく。 ・集団活動の中で役割を担ったり決められたルールを守ったりする等のソーシャルスキルトレーニングを通して社会性を培う。 ・自分のやるべきことが分かるようにスケジュールに慣れる。（特別支援学校・学級コース） 					
家族支援		保護者と面談や電話などで相談を行っていく。また、必要に応じて子育てサポートなどで療育の様子を動画などでご覧いただき、児の発達に関することや特性について保護者と一緒に考えていく。また、レスパイト支援を行う。			移行支援		・ライフステージの切り替えで必要なことを療育に取り入れ、スムーズな移行を目指す。ご家庭の環境を考慮し、社会資源と連携できるよう思索していく。
地域支援・地域連携		・必要に応じて相談機関や関係機関との連携を図る。また、保育所等訪問支援の活用も提案して、家族を包括的に支援していく。 ・名東区自立支援連絡協議会（そだつ部会）へ参加し連携を図る。			職員の質の向上		月1回程度の事業所内研修もしくは、外部研修を実施している。また、その他必要な研修を随時行っている。 資格支援制度があり、職員の資格取得を補助している。
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・月1回程度子どもたちと一緒に避難訓練を行う。また、職員で避難経路の確認を行い災害時に備えている。 ・事業所内の備品や設備などの点検を定期的に行い、事業継続（BCP）に心がけ途切れない支援ができるように備えている。 					